

碩心

題字は松井岳洋筆

No.418
平成25年4月

発行
(公社) 日本詩吟学院 認可
碩心会
発行者 内山岳青
編集者 伊藤岳光

神奈川県藤沢市辻堂東海岸1-7-28
Tel/Fax.0466-33-2228
URL <http://sekishin.holy.jp>

ボランティア活動を通して

葉山地区長 加藤 岳美

葉山地区の活動の一つとして、福祉施設の慰問公演があります。佳香会と京愛会の舞と葉山地区の会員の皆さんのご協力を戴き、毎回15人程で、葉山にある三つの福祉施設を順次訪問しています。詩吟、詩舞、歌謡吟詠等を披露し、喜んでいただいています。



「碩、心会の皆さんの慰問を毎回心待ちにしているんですよ」と職員の方からこんな言葉が返ってくると、詩吟

で社会に貢献することの実感が湧いてくるものです。施設には心身が不自由で入居されている人、デイサービスに通ってくる人等様々ですが、時には以前に詩吟をしていて、私達と顔見知りの方に出会い、懐かしくお話をすることもあります。私達の吟ずる詩文をコピーして配り又黒板に貼るなどして、作者や

詩の内容をわかりやすく、ナレーション風に説明して理解して貰い、一緒に声を出すと「これは口の体操、又、頭の体操につながり、とっても良いリハビリになり顔の表情も明るくなるんです。」と施設の方から感謝されると、ボランティア活動の喜びをさらに感じます。普段の舞台と違って、すぐ目の前で吟じる緊張感がありますが親近感も湧いてきます。私達が真剣に吟じ舞う、その心が通じるのでしょうか、熱心に耳を傾け口ずさみ感動して涙ぐんで聞いてくれる人もいます。

施設を訪問して感じる事は、健康であることとの有難さです。健康の源は食生活です。近年「食育」が盛んに叫ばれています。私は「食生活改善推進団体」に所属し「食改」さんと呼ばれ、地域の人達の食生活の向上のお手伝いを仲間と共にしています。詩吟と食改の活動は共通する点があると思います。健康であればこそ続ける事ができる、これからも元気でボランティア活動に従事していきたいと思っています。

行事予定

詩吟体験教室

日時 5月12日(日) 午後1時～2時30分
6月22日(土) 午後1時～2時30分
7月20日(土) 午後1時～2時30分
場所 逗子市民交流センター第5会議室
(日時は変更あり)

神静地区吟詠大会

日時 5月19日(日) 開会午前10時
場所 小田原市民文化会館大ホール

第3回神静地区師範吟詠大会

日時 6月2日(日) 開会午前10時
場所 三島市民文化会館

第22回神奈川岳風連合青少年吟詠大会

日時 6月9日(日) 開会午前10時
場所 港南公会堂

第33回碩心会吟詠温習会

日時 6月23日(日) 開会午前10時
場所 葉山町福祉文化会館ホール

第21回神奈川岳風連合吟道大会

日時 8月18日(日) 開会午前10時
場所 横須賀文化会館

碩心会夏季吟道講座

日時 8月24日(土)
場所 葉山町福祉文化会館大会議室

昇段位認許

(平成25年4月1日付)

少年 3名

- 167 松浦みづき(少三段) 180 吉田朋之進(少七級)
- 181 島袋泰成(少九級)

初段 6名

- 194 本多ミイ 196 新井洋子 197 山田眞佐子
- 199 伊藤友子 200 片桐泰子 208 寺山則子

二段 3名

- 191 永田穂積 192 金澤正宏 193 津呂知子

初伝 3名

- 177 吉田桜泉 185 伊藤洋泉 187 山口青泉

三段 5名

- 175 泉谷鐵泉 176 馬場香泉 178 加藤典泉
- 179 田嶋明泉 182 亀井水泉

四段 6名

- 168 山中郁泉 169 有田暢泉 170 松井淳泉
- 171 吉田新泉 172 白石雅泉 173 常盤仙泉

中伝 3名

- 160 野村耀山 161 畠山竹山 163 古敷谷江山

五段 4名

- 152 高橋禮山 153 加藤茗山 154 永田静山

六段 1名

- 155 村田謙山

七段 1名

- 147 齊藤悠山
- 120 吉田千風

八段 3名

- 13 角田有風 113 古原益風 114 石渡美風
- 準師範(平成25年2月20日付)
- 66 高見陽岳

「平成25年春季審査会」

花冷えが続く3月30日、審査会場の葉山町福祉文化会館に向かう道すがら、小学校の桜は満開のピークをやや過ぎていたが柔らかな春の光を浴びていた。そんな景色に浮き立つ気分とこれから始まる審査の緊張感が交錯する。真剣な面持ちの受審者に「皆さんが練習を重ね、待ちに待った！審査会、頑張ってください」と磯村副会長のご挨拶。

この日が迫るにつれて教室のご指導は何時にも増して熱気、あとは平常心で詠ずること。しかし、これが如何に難しいことか。内山会長は日頃、「審査会を目標に練習に励むことは、確実に吟力アップに繋がる絶好の機会」と活を入れられる。終了後の講評―丁寧な注視点、指摘を胸に刻む。帰するところは「吟道奥義抄」に尽きる。いつの日か诗情豊かな朗詠に至るには、稽古の上に稽古の外は無い。審査会是指導者にとっても吟詠指導の成果を問われる場とか、熱心なご指導に込める道は一に研鑽努力と肝に銘じた。

常盤

詩吟体験教室 余韻

渚支部 照沼夏山

まさに早春譜な風の冷たい2月16日葉山図書館で開かれた体験教室に参加しました。

講師は磯村副会長、当日の課題は「寒梅新島裏」「春 佐々木信綱」の2題、プリントを手に着席すると内山会長より詩吟への取り組み方・アドバイスからスタート。

詩吟は一節／二声／三品を大切に吟力の向上をめざすもの等のお話を頂いて、講師にバトンタッチされました。

磯村講師は「寒梅」「春」の特に素読に力を入れ、節調とともに繰り返し繰り返し、伸びやかな声でご指導下さいました。

内山会長からは初めてご参加の(三名)の方にも分かりやすいよう、素読についての解説や好文木との異名を持つ梅についてのエピソードなど伺って終わり。帰宅後、辞書を開いて、なるほどね…吟じるだけではない奥深い余韻を楽しんだ体験でした。



第一回尚歯会全国吟道大会

滝の坂支部 行谷 隆岳

3月24日(日) 日本教育会館一ツ橋ホールで標記大会が開催された。碩心会からは松川・原田・山本・村上・行谷の5人が参加した。10時開幕。厳肅な中に国歌斉唱・朗詠合吟・明治天皇御製歌(木部理事長)と開会を挙行。プログラムの特徴は、最初に個人吟詠、その後合吟とわかりやすく組まれていて進行がスムーズに流れていた。いつものことだが合吟の難しさを改めて痛感。研究の余地を残す。我々相州グループは、平木岳榮(翔風吟道

ホームページ便り

碩心会のホームページで過去発行された「碩心」を読むことができます。

閲覧は on key となっていますので、トップページの右側にある「機関紙」ボタンをクリックし
ユーザー名に siginsuki
パスワードに seki2010
と入力してください。“パスワードに記憶する”にチェックマークを入れてください。

◎柳原伶山さんの退会に伴い森祐山さんにホームページを担当して頂く事になりました。

広報部

会) 会長のリードのお蔭で成功した方であった。本大会一週間前にたつぷり練習した成果

が出た賜物だろう。昼食を前に主催者木部理事長挨拶。吟界に若い人が居なくなつたと嘆く。落ち込む。我々は後期高齢者ではなく高貴高齢者だ。勢いや声のツヤは若者に及ばないが社会経験を積んだ年輪があるぞ。先達がそうだったように後継者のために元気で仲良く楽しく頑張ろう。なお大会の成功の裏には神奈川県が先駆けとなつたとの感謝の言葉があった。「人生に定年なし、苦難を乗り越え歴史を刻み、幾星霜を重ねたあなたは学院の誇りであり日本の宝です。」

このスローガンのもと、今後尚歯会は大きく羽ばたき、中核をなしていくと確信した。

鎖(くさり)

相洋支部 西岡 岳清

「文化とは、恩を受けて返す長い鎖」

という文章を数年前、ある新聞で目にしました。「あつー鎖ネ」と何時も頭の何処かにありました。日本古来の「文化」と呼ばれているものは、茶道、華道……等数知れず沢山有ります。その中の一つ歌舞伎の歴史も長い。

今から四百年位前に出雲大社の巫女「阿国」がかぶき踊りを考え様々な芸人の手を経て発展「阿国」から現代迄どう繋がってきたか、

私には分かりませんが、今では海外でも知られています。

調べてみると詩歌を吟じる習慣は、古く平安の中期、漢詩や和歌を歌詞とする宮廷歌謡「朗詠」が盛んになるとありますが、これが詩吟のルーツではないかと思えます。その後江戸後期、素読する際、独特の節を付ける事が行われたのが詩吟の始まりだと思えます。

私は読書が好きで、最近読んだ本「少年白虎隊」の本の中に会津藩日新館の士族の少年が学問が終ると文天祥の「正気の歌」を高吟しとあり、最後に飯盛山で自刃する前、文天祥の「零丁洋を過ぐ」を吟誦したとありました。又「近藤勇白書」の中で近藤勇が捕えられ打ち首の時すでに作つてあつた辞世の句を吟じたとありました。書籍でも、武士が剣舞を演じたり、詩吟を吟じる場面に出会うことで当時の武士の社会では、詩吟は日常に吟じられていたことを感じました。そしてこの素晴らしい文化を私の次の世代に繋げていかなければならないと強く感じました。

碩心会は平成23年、七十五周年を迎えました。これは長い年月を私達の先輩一人一人が一つの鎖となつて繋いだ結果ではないでしょうか。

私達もその鎖の一つとなつて、次の世代に繋いでいくことが使命だと思えます。

支部紹介

篁風支部小和田教場

篁風支部 吉田新泉

詩のこころを音に、発音を明確に

私達の小和田教場は平成22年6月に始まったばかりの新しい教場です。高見先生の厳しい指導の内にも温かなフォローを頂き、賑やかに楽しいレッスンの一時を過ごしています。

常に発音の明確さ、アクセントの正しさを指摘され、吟題も吟の内と吟の第一声から何度もやり直しを繰り返しながら詩吟を学んでいます。素読から始まり、詩の情景を解説され、作者の心情を解きほぐし、いかに詩の心を音に表すかを懇切丁寧に指導頂いています。

メンバーは男性4名、女性3名、先生を含めて8名です。我が教場の悩みは、新会員の加入です。もう1〜2名の獲得に会員全員が知恵を絞っています。教場は仲良く楽しい雰囲気になっています。



会員のうきき

*入会 (2月1日付)

- 210 関水スミ子 (一色) 再入会 滄岳
葉山町一色 2136
☎ 046-875-1315 紹介者 鈴木祐岳
- 211 おおくぼ すず 大久保 鈴 (松和)
茅ヶ崎市東海岸南 3-1-20
☎ 0467-58-5028

*入会 (3月1日付)

- 212 工藤 明久 (篁風)
茅ヶ崎市菱沼 3-12-31
☎ 0467-58-1131 紹介者 高見湘岳
- 213 こがねいとしゆき 小金井敏幸 (滝の坂)
葉山町一色 530-29
☎ 046-875-5596 紹介者 行谷隆岳

*入会 (4月1日付)

- 214 こいずみ たかよ 小泉 貴代 (諏訪) 移籍 貴岳
横須賀市湘南国際村 1-23-10
☎ 046-857-8908 紹介者 上村岳章
- 215 すずき みちこ 鈴木 道子 (渚)
葉山町一色 1021
☎ 046-875-4359 紹介者 伊藤友子

*退会

- 27 田中岳明 (渚) 40 知久岳萌 (滝の坂)
41 森岡岳朗 (渚) 60 渡橋正岳 (諏訪)
96 野元正岳 (渚) 133 柳原伶山 (瀨朗)
140 土屋櫻山 (渚) 死亡 159 知念義泉 (酔吟)
165 広瀬優作 (唐木山) 166 広瀬直樹 (唐木山)

*指導者変更

紫陽花支部 杉山岳雪 → 根岸岳啓

*所属支部変更

- 7 中村 岳愛 あずま → 諏 訪
8 中村 岳郵 あずま → 諏 訪
28 一之瀬 岳保 あずま → 紫陽花
34 広瀬 岳唐 唐木山 → 滝の坂
42 齋藤 岳和 平松 → 相 洋
51 村上 岳雍 平松 → 相 洋
103 森 律風 平松 → 相 洋

*支部長変更

- 篁風支部 67 高見湘岳 → 高見陽岳
滝の坂支部 117 坂上葉風 → 行谷隆岳
渚支部 59 原田義岳 → 常盤仙泉
紫陽花支部 50 池田岳清 → 曾村静岳

*支部閉鎖のお知らせ

あずま支部 唐木山支部 平松支部

◇ 初吟会会計報告	収入の部	552,332 円
	支出の部	519,096 円
	次期繰越	3,236 円

編集後記

「支部紹介」は今号で終了致します。
春季審査会も無事終わりホッとしたのも束の間、吟詠温習会に向け各々勉強している事と思います。日々健康で過せる幸せを感じつつ、吟技に励みましよう。頁数の関係上、次号掲載とさせて頂く原稿があります。ご諒承下さい。広報部

25年4月1日現在	会員数
葉山地区	81名
逗子地区	120名
合計	201名